2016年10月版

# 予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD（ワクチンで防げる病気）から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

| ワクチン名 | | 接種済み ☑ | 0歳 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10か月 11か月 1歳 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10か月 11か月 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8 9 10 11 12 13（満年齢） |
|---|---|---|---|
| 不活化ワクチン B型肝炎（母子感染予防を除く） | 定期 | □□□ | 2016年10月から定期接種。2016年4月1日以降生まれが対象で、0歳のうちに3回接種が必要。3回目は、2回目から4-5か月の間隔をあけて受けます。 |
| 生ワクチン ロタウイルス | 任意 | 1価 □□ / 5価 □□□ | ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けましょう。 |
| 不活化ワクチン ヒブ | 定期 | □□□□ | ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要です。 |
| 不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 | 定期 | □□□□ | 補助的追加接種：7価ワクチンの接種完了後に13価ワクチンを1回接種するとより確実に予防できます（任意接種）。 |
| 不活化ワクチン 四種混合（DPT-IPV） | 定期 | □□□□ | 二種混合（DT）：11歳で追加接種（接種対象11-12歳） |
| 生ワクチン BCG | 定期 | □ | 個別接種の場合は四種混合などと同時接種で受けられます。 |
| 生ワクチン MR（麻しん風しん混合） | 定期 | □□ | 1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・MR・おたふくかぜ・水痘の6本を同時接種で受けることや、ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の追加接種の1週間後に受けることもできます。 幼稚園、保育園の年長の4月～6月がおすすめ |
| 生ワクチン おたふくかぜ | 任意 | □□ | 日本脳炎ワクチンと同時接種でも受けられます。 |
| 生ワクチン 水痘（みずぼうそう） | 定期 | □□ | 9歳で追加接種（接種対象9-12歳） |
| 不活化ワクチン 日本脳炎 | 定期 | □□□□ | 追加接種は、初回接種から3か月の間隔をあけて受けましょう。 |
| 不活化ワクチン インフルエンザ | 任意 | 毎秋 | 毎年、10月から11月ごろに接種しましょう。 |
| 不活化ワクチン A型肝炎 | 任意 | □□□ | 1歳から受けられます。1回目の2-4週後に2回目、その約半年後に3回目を接種します。 |
| 不活化ワクチン HPV（ヒトパピローマウイルス） | 定期 | □□□ | 中学1年で接種開始（接種対象：小6から高1の女子）2価と4価があり、ワクチンによってスケジュールが異なります。 |
| 不活化ワクチン 髄膜炎菌 | 任意 | □ | 2歳から受けられます。海外留学や高校や大学で寮生活をする人などは接種がすすめられます。 |

不活化ワクチン　定期　定められた期間内で受ける場合は原則として無料（公費負担）。

生ワクチン　任意　多くは有料（自己負担）。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

おすすめの接種時期（数字は接種回数）

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

2016年8月作成

詳しい情報は http://www.know-vpd.jp/ VPD 検索

© NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会